

分流化整備事業について

1. 分流化整備事業について

(1) 事業概要

平成25年度より、河川への汚濁負荷の解消や下水終末処理場の負荷の低減を目的として、JR恵庭駅から市役所周辺の合流式下水道区域約103.4haにおいて、新たに污水管を新設し、雨水と污水を分離する分流化事業を進めています。

(2) 事業予定期間

平成25年度から令和7年度（13年間）

(3) 事業の進捗

本事業は、国の社会資本整備総合交付金や下水道事業債を財源に、今年度中の事業完了を目指して事業を実施しております。令和6年度末時点での進捗は89.7%となっており、令和7年度につきましても計画どおりの発注を予定しております。

●合流式下水道と分流式下水道

- 合流式下水道：污水と雨水をまとめて下水処理場で処理します。しかし、大雨の際には污水の一部が河川に放流されるため、環境への負荷が大きいという問題があります。
- 分流式下水道：污水と雨水を別々に処理することから、環境負荷や処理場の負担が軽減されます。



【事業実績】

項目	H25~H29	H30~R4	R05	R06	R07(予定)	計	計画
実施整備延長 (m)	8,520.8	10,784.6	2,288.8	2,300.4	2,828.0	26,722.6	26,910.0
累計延長 (m)	8,520.8	19,305.4	21,594.2	23,894.6	26,722.6		
年度整備面積(ha)	34.1	42.7	7.8	8.1	10.7	103.4	103.4
累計整備面積(ha)	34.1	76.8	84.6	92.7	103.4		
整備率(%)	33.0	74.3	81.8	89.7	100.0		
事業費[千円]	935,547	1,624,898	366,476	413,270	542,000	3,882,191	